

『Mind Charging』

第 163 回 発行：入試広報室 発行日：令和 2 年 11 月 27 日

有吉弘行の名言



やらない理由なんて無限にある。

やる理由はあまりない。それでもやるんだよ。

この言葉を知った時に、『わかるけど、じゃあそんな時のモチベーションはどうやって作るの?』という疑問を持ちました。モチベーションとはいわゆる“動機づけ”であり、目標に向かって進む行動や意識を維持することだと思います。それが、やる理由が見出せない中で維持できるのか。正直言って『できますよ!』と自信満々に即答できるか不安なところです。

例えば自分にとってやるべきことだということが明確になっているものがあって、しかもそれが自分の好きな(得意な)分野のことだったとしても、いつでも 100%の力で取り組めるというわけではないと思います。なぜなら人間には“気分”があるからです。気分が乗っている時は周りが驚くほど食事や睡眠を忘れてしまうレベルまで没頭できてしまうような集中力を発揮しますが、気分が乗らない時は周りどころか自分でも驚くほど力が出ないものです。そういう意味でも最近スポーツの世界で盛んに言われているように、自分の気持ちを前向きに取り組めるレベルに押し上げる『準備』が重要なだと改めて思い知らされることです。

人間としてこの世に生を受け、日々を過ごしていく中で私たちには“役割”というものがあります。例えばみなさんのような学生であれば、勉学に励むことを大前提としながら、クラス内の生活や部活動の中で小さかったとしても“社会の中の自分”というものを感じながらコミュニケーション能力や問題解決能力などの『人間力』を養っていくことが役割としてあります。先ほど述べた“気分”の良し悪しによって役割を果たすモチベーションが上下しがちではありますが、将来それは『成果』として自分に返ってきます。将来の自分の人生がより豊かなものになるように今を大切にしていくこと、そうできるようにしっかりと準備をして日々の生活を送っていききたいものですね。(編集委員：入試広報室 鈴木)

有吉 弘行(ありよし ひろいき、1974 年(昭和 49 年)5 月 31 日 -)は日本のお笑い芸人、司会者、ゲーム実況者。猿岩石の元ボケを担当。広島県安芸郡熊野町中溝出身。身長 172cm。体重 62kg。太田プロダクション所属。広島県観光大使。江戸川区インド人街名誉アンバサダー。1992 年 12 月、当時高校に在学中だった有吉は『EX テレビ』(読売テレビ)の企画「公開弟子審査会」に合格し、オール巨人に弟子入りする。しかし兄弟弟子と喧嘩をして相手に怪我を負わせてしまい、巨人から謹慎を言い渡される。(Wikipedia 参照)